

## 「第3回 豊橋市緑の基本計画（仮称）検討委員会」議事録

○会議形式 書面会議

○出席委員 別紙「出席者名簿」参照

### 【会議資料】

- (1) 豊橋市緑の基本計画（仮称）検討委員会名簿（資料1）
- (2) 豊橋市緑の基本計画策定スケジュール（資料2）
- (3) 市民及び事業者の緑に関する意向について（資料3）
  - ・市民ワークショップの結果概要（資料3 参考資料1）
  - ・令和元年度豊橋市みどりに関する企業アンケート調査結果（資料3 参考資料2）
- (4) 豊橋市緑の基本計画（仮称）素案について（資料4）

## 1. はじめに に関する意見

### ○市民及び事業者の緑に関する意向について【資料3】

#### (委員長)

・アンケートについて。

設問が記述の終わりにあるのは、何を聞いての結果であるかが最後まで分からないので、逆にすべきではないでしょうか。

「意欲を高めることが重要」「取り組みが必要」「管理の質を高めていく」など一般的な対策が述べられていますが、どの結果から言えるのか、さらに具体的な事項を記述する必要があります。

・ワークショップ

意見概要だけが出ています。せめてどのように行ったか参加人数や構成などは必要では？

これでは折角やったワークショップ、豊橋の特性などがわかりません。

#### (副委員長)

・市民・・・実際に協働に関わっている人は中高年に多い現状だが、もっと若い人に関わってもらうためには、小学生をターゲットに（幼児も）することは良いと思う。子供が参加すれば、若い親達も参加すると思う。どのように子供達を引き付けるか、企画が重要だと思う。

・企業・・・社屋や工場の建築物の一環として美化的な面からの意識は高いが、緑を守り育てるという公共的な面から緑化を期待する事は難しい。利潤を追求する企業としては止むを得ないと思う。企業のイメージアップにつながる企画（緑化を広報してあげるなど）必要か？

#### (委員)

・ワークショップの件。子ども、小学生を巻き込む、という視点、大事だと思いました。国際的には「子どもにやさしいまちづくり」というキーワードでユニセフが進めている政策の先行例なども参考になりそう。

・企業アンケートの件。2010年と2019年で比較すると、緑化の取り組みが下がっているのだと思いました。P-PFIに関しては、数少ないもののゼロではないので、その企業さんには丁寧にアプローチして成果を上げる、そこから広げる、というステップが大事と思う。

#### (委員)

確認になるので恐縮ですが、企業アンケートのP3の項目2.(3)において、無作為抽出とあります。これは下の図の13の業種からの抽出割合は前回と同様でしょうか。それとも、割合は特に気にされないものなのでしょうか。

(委員)

フットパスがある公園には賛成。近辺の公園も古びた遊具はあるが誰も近づかない状態。草も伸び公園に行くのは、怖いです。是非整備し、出来れば東屋も設置し、皆が来て散歩しながら会話出来る、そんな公園にして欲しい。

(委員)

この数カ月で私達を取りまく環境が大きく変化してしまいました。緑に関する活動は意見の通りで良いと思いますが、今後再びコロナ禍の様な事態が起こりえることを考え、公園を上手に管理する仕組みも検討されてはと思います。

(委員)

・市民ワークショップ：各々良い意見有り C班の取組み、個人的には賛同  
・事業者アンケート：①有効回答率の低さと、回答した企業でも法的制度の認知の低さが目についた。②全体として現状に不満も少ないが、積極的な動きも少ないように感じました。

(委員)

B 班参考から、子供達を中心に花を緑を楽しみ、その指導者に直接、大学生が携わってくれる様な事業を行う。

花一杯の場所（芝桜）を運動公園（岩田）に作り、花を見に来た人が緑の様子を見ながらジョギング（楽しみ一杯）

<事業者アンケート>

問12-3 現在取り組んでいないものの、CSR（企業の社会的責任）のための取り組みの一環として、今後取り組みたい活動はありますか？

・この問に対して参加支援の気持ちの多い事に期待がもてる。

問12-5 事業者の緑化を推進していくために、特にどんな支援・制度があればよいと思いますか？

・税の優遇に対しての認知度は少ない。何か方法を考える事が重要。

問13-1 【本市では、平成22年5月から優良な民有地緑化（屋上緑化、壁面緑化、空地緑化、駐車場緑化）に助成する制度を始めています。】これらの制度を知っていますか？

・上記につながる。団体（レク協、老人クラブ）は理解していないと思うが、※しかし私の範囲では知らなくても大丈夫の様に考える。

問16 自由意見欄内の意見（街路樹、道路脇の緑地、小規模の公園等増やすのは良いが、除草等の整備が追い付かず景観の悪化や、交通視界の妨げになっている。拡張するより先に、既にある緑の維持管理をしっかりやってほしい。）

・各地で見受けられる事はある。

(委員)

・大学生、高校生のワークショップの意見を大いに活用すべきだと思う。それに伴う学

生・生徒（各学校）への官側の働きを持つべきだと思う。

・事業者へは市内地域におけるボランティア活動の動向 etc を知っていただき、身近に活動できる、支援できる事を知ってもらう機会を → 企業へのアピール通信、その他へ  
→

**（委員）**

意見の概要やテーマなど細かく仕組みなどが考えられており、よいと思いました。特に、小学生を巻き込むという考え方がとてもよいと思いました。細かいことかもしれませんが、スタンプをあげて貯まったらあげる景品などは、スポンサーになっていただいたところのものであると、よいのではないかと思います。ボールペンなどでもよいかもしれませんが、おかしとかのほうが嬉しいのではと考えます。

**（委員）**

地域のみどりづくり、公園づくりにも使用する花・みどりが（デザインも含め）バラバラになりすぎないように監修役として庭師やガーデナー又はガーデンショップデザイナーなどつけた方がいいと思います。（専門職の方）地域の方たちが参加したくなるような話題づくりをしながら取り組むなど。

**（オブザーバー）**

資料偏 P17 問 11-2 のグラフの「回答率」は「回答数」の間違いではないか。

## 2. 議事に関する意見

○豊橋市緑の基本計画（仮称）素案における計画の骨組みとなる事項について【資料4】  
＜基本理念について＞

### （委員長）

案1→語順がスムーズではない。

例えば「人と彩り豊かなみどりが ともにいきる かがやくまち豊橋」の方が入りやすいと思います

「以下に示す新しい考えの下、基本理念を更新しています」はよい表現とは思えません。例えば「計画の達成度合いや課題の改善をめざして次のように考え、あらたな基本理念を設定いたしました。」

「その機能が発揮される様」→「緑の持つ多様な機能が効果的に働き」

案2→長い。

むしろ「人とみどりが織りなす 楽しい暮らしのまち 豊橋」の方が良いと思います。

「基本理念を拡大」とするなら、どのような方向へ拡大したのか、全方向なのかが不明になります。上述と同じ方が良いと思います。

「基盤となるみどりのあり方、人が集まり使われる・・・目指すべき」はなにか落ち着きません。少なくとも「べき」は使わないほうが良いと思います。

「みどりと人々が交じりあった様子」はどんな情景を称しているのでしょうか？

案2では長い。例えば「人と 彩り豊かなみどりが ともに生きる かがやくまち 豊橋」はどうか。

### （副委員長）

案1：「ともにいきる」は深い言葉だが、説明が必要になる。（難しい？）

案2：「ともにつくる」は「つくる」だけでないので「ともにつくり、守り育てる」(?) などの方が良い。（長すぎか？）

どちらかと言えば長いけど案2の方が良いかも。簡潔な方が良ければ案1でもOK。内容的にはどちらでも良いが、案2の方がより身近な緑 {都市緑化（公園）→市街地}（山林農地等の自然地の緑はもちろん内容に含んだ上で・・・）に重点があり、市民に分かりやすい？

### （委員）

・案2が冗長かなという印象。

・案1ももっと圧縮して「彩り豊かな 人とみどりが ともに輝くまち豊橋」くらいでどうでしょうか。

### （委員）

個人的には、案2を推薦します。理念は抽象的な表現になるのはしょうがないですが、案1だと抽象的すぎる印象です。案2は少し長い印象もありますが、許容範囲ではない

でしょうか。案2の「拡大」という言葉の印象が気になります。案1の「更新」や、もっと適した表現があるような気がします。

(委員)

- ①改定の方向性は、旧基本計画よりもシンプルでわかりやすくなっていると感じます。
- ②SDGsとの結び付けは、やや強引、あまり具体性ない。「生物多様性への配慮」も海、山、川、緑に恵まれた豊橋であれば、あまり前面に打ち出す必要もない。
- ③人口減少社会においては、「維持管理に力点」は正しい。更に市民参画型が増大することを望む。「緑のアダプト制度」→自治会のみで頼るのではなく、緑や花を育てることが好きな「有料ボランティア」人材を増やすのがよいのではないかな？

(委員)

昭和53年に東京から豊橋に来た私の第一印象は、緑の多い街だという思いが、今も続いています。今より緑を増やすより、メンテナンスをしっかりとる事をと考えてしまいます。緑地の雑草に目が行ったり、どこが担当なのかと思う事があります。場所をお借りする事が多い私共ですが、(レク協)緑のありがたさを感じ乍らも不足するトイレやベンチ等に不便を感じることもあります。

(委員)

案1の方が案2よりも簡潔に書かれており、また「かがやくまち豊橋」ということはどのような意味であるのか気になる文章であり、人を惹きつける魅力があると思いました。そして、その意味がとてもステキであると思いました。「彩り豊かな」という表現も十人十色というようにとてもよいと思いました。

(委員)

暮らし、日常に加え集える(イベントできる)場となることもイメージした2案がいいと思います。ただし長い気がいたします。

ともにつくる豊かなみどり みんなが集うまち・豊橋～みどりと人が織りなす楽しい暮らし～

(オブザーバー)

- ・P32 キーワードを強調した方がよい。

## <緑の将来イメージについて>

### (委員長)

イメージ1について、イメージ2のような絵が当てはまるのではないかな。

イメージ2は緑があり川が流れ、市街地に向かっていくようなイラストがいい。豊橋でいうと、野依のあたりから梅田川から北側の市街地、山が入ってくるような風景がいいのではないかな。

イメージ3は「活気あふれる魅力的な公園緑地」と最後に「緑地」を入れてはどうか。

イメージ4は「豊橋の文化を感じさせる」とあるが何か？

イメージ5は「緑の協働で市民が輝く」にしてはどうか？

「改定の方向性」が不自然な位置にあり、フォントの大きさも中途半端です。

改定の方向性が3つあり、その中にイメージを2つ、2つ、1つ示しているというような表現にしないと混乱します。将来イメージが5つあり、それに関係するのが方向性3つという感じになります。

絵の与える印象が必ずしもイメージに合致していない。

これはもう少し検討する必要があると思います。

### (委員)

・改定の方向性1を「自然の豊かさを守り、水と緑のネットワークを紡いでいく」という風に「水と」を追記してはどうでしょうか。水循環、生物多様性を表現するためです（イメージ1と2両方の文章をみてもその方がふさわしい気がします）。

・イメージ4で最後に「豊橋の文化を感じさせる」とあるが少し唐突なイメージ。加筆修正または削除でどうでしょうか。（p.10から推測すると、ここでいう文化は、城跡や陸軍演習場、古墳などの史跡につながっていることを文化に根差すものと表しているようです。しかし、その文脈と個々の文脈はあっていないように思います）

・イメージ5。本文3行目「行政との協働の下」から始まるのが「地域が主体」という概念とあわない。市民、地域が主体で進め、行政はそれを下支えし、さらに協働します、みたいな表現や順番にしたい。

### (委員)

緑の協働、地域が主体となっていますが、無理矢理地域に押し付けられているイメージがあります。せめて、公園緑地課職員と管理者との会合を年1回はしてほしい。地域の要望も行政には届いていないのが現在のイメージです。将来は緑も残して意味無い公園は、他の業者に貸しながら収益も得る公園を目指すのがいいと思います。

### (委員)

維持（すでに豊かな自然があり）、市内協働参加型（ともにつくる）が良いと思います。

### (委員)

緑の日、街中一斉に近くの緑の場所のメンテナンスをする日があると楽しいですね。

話は別ですが、S55 年頃緑地公園で30万人都市にしようと云う事業をした様に、覚えています。緑地公園の木を利用して、世界めぐりのゲームを、木々の園を通りながら美しい日本にたどりつくゲームだと憶えています。

今まで人口が少なくなってきた表を見て驚きです。

(委員)

市民・官・事業者参加の一体的参加型の保育・管理型公園 → 市民(住民)のものの緑地

(委員)

テーマや内容はとてもよいと思いましたが、基本理念において、人とみどりの多様性など私的には「人」と「みどり」を大切にしているように思ったのですが、絵には「緑だけ」や「まちなみだけ」が描かれているものがあり、1枚だけにするのではなく、人とみどりが共存している絵も載せるとよりよいのではないかと思いました。

(委員)

「イメージ3について」それぞれの公園の特徴を活かす、手を加える、より目立たせる(歴史、植物、池など)工夫をしていくことも取り入れてはいかがでしょうか。

(オブザーバー)

- ・緑の将来イメージ1 「豊かな自然や農地」については、現状維持を想定してイメージとしているのか。
- ・緑の将来イメージ2 多自然川づくりの写真を掲載しているが、本文に記載がない。多自然川づくりを推進したいのか。
- ・緑の将来イメージ3 写真は何を示しているのか。スケボー等の多様な使い方ができることを示したいのか。
- ・緑の将来イメージ5 写真が全体的に暗く感じる(緑色ではなく茶色だから)。市民参加(ボランティア)活動をしたくなるように花壇づくりの絵を加える等により、もう少し明るいイメージにしたらどうか。

(オブザーバー)

将来イメージとありますが、現状の説明になっているように思われます。



## <緑の全体目標について>

### (委員長)

- 公園の満足度は、緑だけではなくトイレ等施設の整備が関わってくるため、なかなか難しい。
- 緑視率を全体目標に入れてはどうか？
- 全体：本当は市街地では緑視率、公園も公的なところにとどまらないことを考えると公園緑地としたいところです。

### (委員)

- 目標で緑被率が記載されていますが、ここは「指標」ではないでしょうか？
- 将来イメージ1と2の指標は「緑被率」に加えて、水循環とか生物多様性をカウントする指標も入れるべきと思いました。
- 将来イメージ4と5。「緑の満足度」に加えて「市民の参加度」みたいな指標は入れられないでしょうか。どのくらいの数の人が緑の維持管理に関わっているのか。人数に時間数までかけあわせると、よりリアルな社会的インパクトの計測になると思います。

### (委員)

参加率、市民による公園管理カバー率のような目標が定められると良いな、という印象を持ちました。

### (委員)

緑被率の維持は解るのですが、植えた木が巨木になり、木との間隙も余りないため、地割れになっていたり、木が多すぎて犯罪を誘発する。(例、自転車の放置等) ツツジを植えてくれているが、ツツジの中にゴミを捨てたり隠したりする人もいるので、花壇の方がいいと思う。

### (委員)

- ① 現状の緑被率を維持し、市民が楽しく幸せを感じるような参加型、結果として緑の行政コストも下げることができれば、一挙両得と思う。
- ② 全国平均では下位かも知れないが、豊橋市民は、海、山、川のある緑豊かな中核都市と思っている。もっと全国に、その「価値」が認知されれば、市民は、より能動的に緑を守る運動に参加するのではないか(緑豊かな豊橋のブランドになる)

### (委員)

豊橋は上位市部ではみどりの町となっているが、施設の面では各段に弱い。市民の使いやすさに重点を。緑全体の目標については了解できる。

### (オブザーバー)

緑の将来イメージを数値(%、箇所数、モデル等)化したらどうか。緑被率は市街化区域も追加した方がよい。

## ＜施策の基本方針について＞

### （委員長）

- ・旧計画と同じようなものになっている。
  - ・将来のイメージとの関係も視野に入れて考えたいと思います。
- 基本方針1：適切な維持管理は何についてさしているのでしょうか？優良な農地という一部だけが詳しくないでしょうか。
- 基本方針2：緑は街路樹だけではないのでそれを記述する必要があると思います。
- 基本方針3：市街地の土地利用にも及んでよいのではないのでしょうか？
- 基本方針4：文章再考。
- 基本方針5：「協働」を述べているが、市からの視点的な記述に感じられるので、協働として行うことを記述していただきたいと思います。

### （副委員長）

- ・「良好な水と緑のネットワークの形成」・・・産地、海岸等の原生的な自然、川や池の自然、街中の自然、それぞれの違いを認識した上で、保全や維持管理をしていく必要がある。街中に原生的や自然度の高い自然まで持ち込む必要は無い。（大規模な公園はいくらか自然度が高くなると思う。）「ネットワーク」は結果的にできれば良い。（最初からあまり意識しなくて良い。）
- ・「身近な緑の拡充」・・・各家庭が緑（花も含む）を育てる気運がより高まると良い。また。道行く人達からも見えるような工夫（塀を低くするとか）をしてもらいたい。（京都の「哲学の道」が美しいのは川沿いの家々の木々の緑が果たす役割が大きいと思う。）
- ・「市民や事業者の緑への関わり」・・・どのようにすれば、関わる人が増えるのか（しかも喜んで）アイデアを出し合う必要がある。（作業後のお楽しみ企画、少額ではあっても報酬がある等々）

### （委員）

上記 2-2 で示したように、この計画では歴史的なものを維持、継承することを「豊橋の文化に根差す緑」と表していると解釈しました。となると、そこが分かるように加筆修正したほうが分かりやすいと思います。「豊橋の歴史を継承するために重要な緑の保全に努めます」ではダメでしょうか。道行く人たちの目を楽しませる彩のための緑を増やしたい。その一方で、豊橋の歴史を伝える史跡はその周辺の緑地を含めて一体的に保全したい、ということですよ？前者を攻めの緑とすると、守りの緑も大切にします！みたいな宣言があればよいのでは、と思いました。

### （委員）

学校とも連携して小中学生も公園の清掃に参加出来ないでしょうか。

### （委員）

緑を保全し、維持をして行くには多大な労力と金額が必要になってきます。地域に委

託したり、又業者に依頼する場合にも今後は今以上に負担が掛かる様に思われます。緑を豊かにすることと、緑の質を高めることを今後地域そして行政の負担を軽減出来る方法も検討されてはと思います。

(委員)

了解できる。(ただし施設面×)

(委員)

③ 公園の魅力の向上をすることで、公園利用(者)の増加を目指す。利用者が増えることが公園の満足度の増加につながると思います。

(オブザーバー)

・P31 改定に影響する現況や課題 <方針1+2>

緑の骨格である豊かな自然の森林、優良な農地が減少の理由は何か。(開発との関係や都市マスの新市街地の予定であった等)緑被率の減少は課題として記載しなくてよいか。(P37で目標値になっている)緑の回廊の記載が盛り込まれていないように思われるが問題ないか。(改定の方向性では②に記載あり)

・P31 改定に影響する現況や課題<方針3+4>

長期未整備公園がある、身近な公園の配置に関して偏りがあるとP11に記載されているが、課題として記載するべきではないか。

<新たな動向>

「防災、減災」は<方針1+2>ではなく、こちらに記載した方がよいのではないか(公園を防災拠点又は広場と考えるならば)。また、「街路樹」を加えたらどうか。

P31 改定に影響する現況や課題<方針5>

緑の体験(農業体験)やワークショップの意見から課題とするものはないか。

<新たな動向>

情報発信を加えたらどうか。SNSを実施しているようであるが、実施した効果に関する課題を記載してはどうか。

(オブザーバー)

1と4については手段の記載がないように思われます。

## <その他の項目について>

### (委員長)

#### 1章

「1 緑の基本計画とは」「4 計画のフレーム」「5 対象とする緑」に記述は雑駁すぎないか？もう少し丁寧な記述が必要と考えます。

基本計画を策定することで自治体や住民にとって何が「お得」になるのかななどを記述してもよいのではないのでしょうか。

「6本計画の構成」の図ですが、欠けている文字や字間、フォントの使い分けなどに配慮が欲しいところです。どれが大事かの順位が重要です。

#### 2章

##### 「(1) 緑被率と土地利用」ほか

「11 年間で緑被地は 1.6%減少」は「11 年間で緑被率は 1.6%減少」に修正。

緑被地は場所を示しているのです。

以下の部分でも数量的に増減を記述するところと、「農地が広がっています」のような感覚的なものがありますが、概要でかつ図表に基づいているので、できるだけ数量を入れて記述してください。

#### 3 市民と緑の (1)

「公園には地域的な偏りがあります」は 11 ページとは違うマネジメントが行われている公園です。また「活動を負担と感じている人が多い状況です」とありますが、どのデータから言えるのでしょうか？15 ページの図から読み取るにしても説明がないと分からないと思います。

14 ページの上の図にオレンジの線の説明が抜けている。

#### 4の(2) 中心市街地におけるまちづくり計画

24 ページの写真は、記述の何にあたるのかを示してください。イメージだけだとすると何のイメージを示しているかも説明が必要。

#### 5 旧緑の基本計画の成果と課題

##### (1) 全体の達成状況

文章記述と共に表に目標の達成について、達成度合いについて○×△を表示するとよりわかりやすくなります。

##### (2) 基本方針事・・・

「取り組みの評価と課題」が 重要です。しかし数量的記述が少ないです。図があるのに説明していない等もあります。

「課題」が記されていますが、育成や啓発、維持管理、魅力を高め、地域活動へ

の参加、市民が主役などの課題が書かれていますが、一般的で、どの都市・地域、どのような事業でもいえることであり、もう少し豊橋のデータに根付いてできることを記述して頂きたいと思います。

方針1：目標に達しないのはなぜか？それがわかれば人材育成のためのインセンティブはなにかが見えてくると思います。そこを掘り下げて頂かないと数字を集めただけになってしまいます。

方針2：「時代に合わせた街路樹の維持管理」とは何でしょう？これが必要です。民活、市民の協力・協同、新事業創生などの具体記述は難しいでしょうか？河川ため池の記述は取り組みにあります但し課題にはありません。

方針3：市民団体が数的に増えてもその内容が問題で、今回はわからなくとも計画を実施する中での課題とすることを書いてよいと思います。魅力を高めたり賑わいを生む公園はどうすればできるかは、言うは易しで、例えば事例ではないがP—PFIでカフェ設置・子どものプログラムなどの具体策を一例欲しいと思います。適切な緑の量と配置は全く一般的です。豊橋でしたら、足りないところはどこだからそこを重点とかは言えそうですが。

方針4：アンケートで工場などの緑化経費の助成に関心がない点がわかりましたが、助成したことだけ書くと効果があるように見えます。

高木に限らない緑化も具体的に記述が欲しいところです。維持管理の質の向上は、具体的にはどのような目標でしょうか。壁面緑化やプランターでは全国で一般的。豊橋ならではのイベントや「花いっぱい」「苗木」などの取り組みを延長したり広げることの提案はできませんか？

方針5：協働の体制づくりはなぜ順調なのか？人材の育成の必要性は十分承知していると思います。ですから、どのように若手を取り込んでゆくかを提案する必要があると思います。市民が主役をどう実現するのも具体的な方向性が欲しいと思います。

## 6計画改定の方向性

31ページの図が必ずしも明快ではありません。SDG'sで5つから3つへまとめようとするので、違和感があるかもしれません。

旧基本計画の課題点を整理したところ、出てきた課題①旧来から続く課題、②現状と将来に対する課題の2つの視点からみると、当初示した3つの要素が適合している。そしてSDG'sからも整合性があるというの分かりやすさを感じました。個人的感想です。

自然を守ることとネットワークについては、「自然」「農地」「公園」「庭」などの緑の自然から人工までの段階があります。それを踏まえるのはどうでしょうか。

まちづくり方針との関係ではだれがどのように行うことの整理が必要だと思います。

地域・市民主体では、交流を利用して他分野との連携をどう作るかが必要と思います。  
・P26～30について、「この基本方針に特に関連する課題」について、一般論と具体論が混ざっている印象がある。

- ・P.27について時代に合わせた街路樹の維持管理と記載があるが、具体的には？
- ・P28についてPark-PFIは書かないのか？
- ・P29は豊橋らしい取り組みを書いてみてはどうか？
- ・P30について、若い世代へのPRとあるが、例えば5分で雑草を覚えるとか親子で緑を学ぶとは具体論を記載してはどうか。
- ・緑によって（触れ合う等）子供が育つという視点を入れてほしい。

（委員）

p.12に「街路樹の維持管理費も増加」とあります。総論としては、維持管理費の抑制が重要と思うのですが、都市部の緑、グリーンインフラ的に考えると、ヒートアイランド抑制や減災効果があるので、行政は総合的なコスト（緑に投資することが大きな視点で見た場合に、市民の命を守り社会の持続可能性を高めることにかかるコスト）から判断すべきなので、そういった視点に配慮した記述があるとよい。現状だと、増えるのは困るので、減らしましょう、というニュアンスに読めるので。

（参考 [http://kenmane.kensetsu-plaza.com/bookpdf/245/fa\\_10.pdf](http://kenmane.kensetsu-plaza.com/bookpdf/245/fa_10.pdf)）

（委員）

緑のアダプト制度・・・中途半端な気がします。緑や街路の花植え、公園の美化  
<コスト>

業者委託>有料ボランティア>自治団体（無料ボランティア）

→この位置づけを明確にすれば、多くの人を仲間に入れられるのでは？花・緑の供給元として「緑の協会」あり

（委員）

大学生・高校生ボランティアをもっと活用し、小・中学生をも巻き込める体制作り {将来の大学生・高校生ボランティアへの誘導へ、学べる緑地（みどり）}

（オブザーバー）

- ・P11 図の市街化区域の線をもう少し見やすいようにした方がよい。
- ・P24、P38の「水と緑の絵」は何を意図しているのか。（中心市街地の公園モデル？）
- ・P18 右下のグラフが項目とずれている。（特に7～10あたり）
- ・P25 「○地域制緑地は～農用地区 域、地域森林計画～」  
→「○地域制緑地は～農用地区域、地域森林計画～」
- ・P27 街路樹の減少に対して、市としてはどうしていきたいのか。  
例）グリーンロード、緑のストリートを指定する等（街路樹再生指針と整合を図る必要がある）
- ・P28 「地域防災拠点活動」→「地域防災活動拠点」

「公園施設庁寿命化」→「公園施設長寿命化」

吉田城址は公園整備によるものであれば〇〇公園と記載した方がよい。文面からは、どのように緑のPRに取り組んだのかわからない。

「農園の提供」→「農園を利用してもらう」

右上の図「豊橋総合スポーツ公」→「豊橋総合スポーツ公園」

(オブザーバー)

- 1と4については手段の記載がないように思われます。

### 3. その他に関する意見

#### (委員長)

全体として、基本的な周知の事項についての記述が多いように感じます。できれば豊橋ならではの点をフーチャーした記述し、および夢が想像できるような構成が欲しいところと感じました。

#### (副委員長)

- ・「目標」を達成するためには他機関、他部局との連携が欠かせない。
- ・「協働」の精神は、子供の頃から育てる必要がある。「勉強」ばかりではいけない。ボランティア活動をもっと評価する仕組みが必要。また、ボランティアもやりがい、楽しさ等が感じられることが必要である。
- ・どの目標も「そのように達成するのか」とことん話し合い、アイデアを出し合い、ロードマップを作成する（具体的な方法を示す）必要がある。

#### (委員)

- ・これも確認になるので恐縮ですが、P12.13の下部に、注：,,,は、旧緑の基本計画における範囲、とあるが、これは本計画書のどこかで確認可能でしょうか、それとも、旧計画を見返さないと、範囲設定の理由はわからないのでしょうか。
- ・P17 市民アンケートにはN値は示されないのでしょうか。

#### (委員)

三ノ輪公園は誰も使用しない意味の無い公園になっていますので、草の生えないフットパスのある、皆が立ち寄れる公園にして欲しい。若しくは他の利用方法を考えてみてはどうか。市役所職員も一度は地域の声を聞きに来るべきだ。

#### (委員)

身近なことですが、街中の「公園」は誰のものかと思う時あり。私も含め、案外、市街地の住民のペット所有が非常に増えているように思う。公園は、正直、犬の散歩道、おしっこ広場になっています。子供を遊ばせたい人には、少し申し訳ないと思う時があります。